

令和2年度教育研究業績書

氏名 山本 尚子

最終学歴	奈良女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 比較文化学専攻 単位取得退学	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	日本英語学会、日本語用論学会、日本言語学会、関西言語学会、英語語法文法学会、International Pragmatics Association、the European Society for Philosophy and Psychology	
専門分野	英語学、言語学(特に、語用論)	
研究課題	トートロジー発話解釈プロセスに関する認知語用論的研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語読解初級I、II ・英語読解中級I、II ・実践英語初級I、II ・実践英語中級I、II ・上級英語I、II ・基礎演習I、II
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	・英語 II
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】	<p>・英語多読指導:授業外の課題として、「やさしい本をたくさん読む」多読指導を行った。この指導法は、各学習者のレベルに応じた英文に触れる機会を増やすことができ、主体的な英語学習のきっかけとなりうる。今年度の授業(上級英語I、II)を受講した学生によるBook Review(書評)については、次年度図書館にて展示予定である。</p>	
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	図書館委員、学生相談委員、国際交流委員、シラバス検討専門部会委員、共通教育資格科目運営専門部会委員、ハラスメント相談員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④ ⑤				
(学術論文) ①「反復表現「AことはA」に関する一考察」 ② ③ ④ ⑤	単	2020年11月	『日本語学会第161回大会予稿集』日本語学会	本稿は、学会発表①の内容をまとめたものである。掲載ページ、251-257。
(学会発表) ①「反復表現「AことはA」に関する一考察」 ② ③ ④ ⑤	単	2020年11月	日本語学会第161回大会研究発表(ZOOM開催)	同一の表現Aを反復させる修辞表現の中でも、Aに形容詞や動詞を用いた「AことはA」に関する研究はまだ手つかずのところが多く、従来の研究では、その解釈プロセスに関する一般化はほとんど行われていない。本発表では、関連性理論の枠組みを用い、「AことはA」の解釈メカニズムを明らかにし、その解釈プロセスにおいて、対比という概念が重要であることを示した。
(その他) ① ② ③ ④ ⑤				